

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	0人	0人	5人

前回の改善計画

・初回面談 (インテーク) 時に、ご本人の生活歴や仕事、趣味活動、家族関係、交友関係、既往歴、利用サービス等を確認する時間を十分にとり、円滑な受け入れと、今後の支援に繋げていけるようにしている。

前回の改善計画に対する取組み結果

・初回面談で全てを聴き取ることは困難な状態ではあったが、ご本人及びご家族との信頼関係が次第に構築することにより、段階的に情報把握をすることができた。全利用者に対して、情報を活かしてのケアプラン作成に至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	2	1	0	5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	2	2	0	5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	3	0	0	5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	3	1	0	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

事前情報 (アセスメント表・ADL 表、内服薬情報など) を用いて、利用者の身体状況や病状、家族構成、介護環境について理解し、受け入れをしている。また、受け入れ後は、事前情報をもとにして、利用者とのコミュニケーションと深め、新たな情報を付け加えることで、その利用者の全体像が把握できている。

送迎や訪問時に、家族と挨拶をはじめとし、他愛のない話題から、自宅での立場や暮らしぶりを知る機会がもてている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族との接点が送迎時だけでは、時間的な制限もあり、家族の介護に対する悩みや困りごとを掘り起こすまでには達していない。また、迎え入れ時に、利用者の全身状態を見落とししていることがあるため、いつから、その状態になっているのか遡れないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

初回面談 (インテーク) 時は、お互いに緊張感があるものなので、利用者及びその家族は、話せる部分と隠したい部分が混在していると考え。そのため、現行の事前情報量は適切だと考える。

もし、今後改善するならば、初回のサービス利用時まで、信頼関係を構築し、利用者の全体像の把握が迅速化すれば、スムーズな受け入れサービス提供に反映できる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	0人	0人	5人

前回の改善計画
・利用者一人ひとりに対し、アセスメント、ケアプラン作成、サービス提供と家族との関わり、モニタリング、再アセスメントの一連の流れを確実にいき、ケアプランやケアの見直しを随時している。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ケースカンファレンスを通じて、現場職員からの意見を聴き取り、身体状況の変化や気付き等を、モニタリングに家族に還すことができ、次回の受診時の情報提供や、ケアプランの変更へ反映ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	1	0	5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3	1	0	5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	3	1	0	5
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	1	0	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ケアプランから利用者の要望を理解し、目標に向けてのサービス提供を実践している。また、サービス提供の実践の途中に、利用者の身体面や精神面の変化に応じ、目標の到達点に変更が生じた場合は、カンファレンスでサービス提供内容について検討をし、本人及び家族に計画作成担当が提案をしている。提案後、本人及び家族の同意のもと、ケアプランの変更もしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
個別ケアが主流となってから、サービス提供内容、提供時間が多岐になってきている。そのため、各々の職員のスキル違い等により、サービス提供の実践に差異が発生してしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
統一されたケアは、固定とした業務の流れ (ルーティン業務) として実施しつつ、新たな個別ケアの部分については、ケアカンファレンスで提供内容と提供時間を決めて、固定とした業務の流れに組み込むことにより、差異が生じないようにサービス提供をし、目標達成を目指していきたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	1人	0人	5人

前回の改善計画

・利用者一人ひとりの生活状況や心身状態について、現場職員と連携をとり、お互いに把握することで、良質なケアに繋がられるようにしている。

前回の改善計画に対する取組み結果

・日々接する職員の目は確かなもので、“いつもと違う。”ことに気付くことができている。そのため、直ぐに現場職員と、その都度打ち合わせをし、家族にケアについて提案することで、早い対応ができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	2	0	5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	3	0	0	5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	3	2	0	5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	4	0	0	5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	3	0	0	5

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

認知症の高齢者は、小さな環境の変化や、コミュニケーションの行き違いなどで、不安感や焦燥感、嫌悪感や興奮状態など、大きく影響をしてしまう。何が要因に考えられるのか、その都度職員間で検討し、対応策を考えることが出来ている。

そのことを、家族に伝えることで、これからの生活の仕方に活かすことで、その人らしい生活が続けられている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

利用者の身体面や精神面の変化に、その都度、ケアを検討し対応策を導き出し実践しているが、その時々で完結してしまい、支援の連続性に弱点がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

認知症の種類と特性を理解して対応を考えることで、ケアにあたる側が、ゆとりをもった対応ができる。出来ない、伝わらない、分かってもらえないことが、認知症と決めるのではなく、本当は出来るのだけど、今回は失敗してしまった。次にまたチャレンジすればよい。と、次を意識して連続した日々を送るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	1 人	0 人	5 人

前回の改善計画	・利用者本人と日常的な会話や関わり、アセスメントを実施して、利用者本人の生活ぶりや暮らし方の意向、これから利用者本人が望む人生設計に近づけられるようにケアプランを考えている。
前回の改善計画に対する取組み結果	・どれだけ利用者本人の望む人生設計に、近づけられているかと考えると判断に悩む部分があるが、小規模多機能居宅介護ルミエールに、嫌々ながら利用している方がいないので、少なくとも生活の一部になっているのではないかと考えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	2	1	0	0
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	0	0	5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	2	0	5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	2	2	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
アセスメント時に、本人及び家族と一緒に、その人らしい生活の継続と今後の目標を設定し、ケアプランを作成している。すべてをサービスで補うのではなく、自宅で過ごす時間も大事にすることを考え、サービスの介入を検討している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
小規模多機能居宅介護の事業所の役目について、地域住民に周知できていないため、本人及びその家族、地域若しくは事業所が、互いに気楽に関わりをもてる環境ができていない。そのため、スムーズな関係性の構築が未発展なところがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者及びその家族のこと、取り巻く地域社会のことを掘り下げてアセスメントする必要があり、地域をケアプランに盛り込むようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	5 人	0 人	0 人	5 人

前回の改善計画

- ・常に利用者本人及び家族の意向を確認するようにし、新たな要望や意向が挙げた場合は、職員間で検討し、その意向や要望が実現できるように考え取り組んでいく。
- ・個別の支援経過を記録することで、状態を時系列的に把握することができ、小さな状態変化も見逃すことがなくなることで、その時々への対応方法等を再確認することができる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・突発的なサービス調整が必要になった場合は、利用者本人及び家族が不利益を被ることが起こらないように、他職種連携を図り、即対応をしている。
- ・支援経過記録については、時々書き漏れもあり支援が続かない場合がある。今後は、記録の書き方の研修等を通じて、向上を図っていききたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	2	0	5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	1	0	0	5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	3	0	0	5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	5	0	0	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

行政サービス（配食サービス、車椅子貸与事業など）の紹介や地域の顔なじみの商店による、見守り・安否確認の協力依頼をすることにより、ひとり暮らし高齢者の生活を支える仕組みをつくり、活用することができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

経過記録の内容が固定化してしまっており、本来重要になってくる利用者との関わりや、その時の変化、表情や感情の動きなどが、記録から漏れてしまっている。サービス提供内容を言語化する、職員の技術や育成不足が目立っている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

地域の社会資源をつないで活用することも、極一部の狭い範囲でしか実現できておらず、広い範囲にするため、新たな社会資源の把握をしなければならない。また、記録はサービス提供の証となる、継続支援するためには、必須となるものなので、早急に研修を実践したい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	0 人	2 人	5 人

前回の改善計画

- ・市町村高齢介護課や地域包括支援センターと利用者のケアについて相談を密にし、他職種間で情報共有し、サポート体制を確立するように努めている。
- ・医療ソーシャルワーカーと綿密に連絡調整、相談を繰り返すことで、入院期間中の状態把握をし、退院前には実調をし、介護職及び看護職と情報共有することで、円滑に受け入れができるようにしている。
- ・地域の防災訓練に参加し、避難誘導訓練等、地域との連携を図っている。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・困難事例等については、地域包括支援センターへ状況報告を行っている。また、サービス事業者に限らず、民生委員やインフォーマルサービスの担当者を担当者会議に参加依頼をすることで、幅広いセーフティネットを創ることができている。
- ・医療ソーシャルワーカーと連携することで、速やかな退院支援ができている。
- ・地域の一員として防災訓練、避難訓練に参加協力することで理解を深めてもらっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	2	0	2	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	1	1	3	5
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	4	0	1	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1	3	0	1	5

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

医療機関、その他福祉サービスとの会議は、利用者の身体状況の変化や、介護保険の有効期限の満了及びケアプランの有効期限において開催している。また、市内の介護支援専門員連絡協議会等への参加を通じ、研修を積んだり連携を図っている。地域の文化祭や体育祭への参加交流ができ、地域の中の存在をアピールできている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

会議への参加や、医療機関との連携は、運営層や計画作成担当が主体となってしまうっており、介護職員が関わることができていない。地域密着事業であるため、事業所主体で地域と交わる事業が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

認知症を抱える家族の方や、認知症のサロンなどを通じ、認知症のことを地域ぐるみで理解することができる場の創設がしたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

7. 運営

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	2 人	1 人	0 人	5 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 意見回収箱を受付カウンターに設置し、家族の意見が回収できるようにしている。 職員と個人面談を適宜実施し、自己評価と今後の取り組みたいことや、取り組めることを確認して、より良いサービス提供に繋げている。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 意見回収箱が分かりにくい場所なのか、目立たないためなのか、逆に投書するところを職員に見られてしまう場所のためなのか、回収したことがない。意見回収箱以外の方法も検討する必要がある。 適宜の面談と自己評価、その事業所評価が確立できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1	2	2	0	5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	2	0	0	5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	3	0	0	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	1	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>利用者のケアに対する悩みや、困りごとについて、利用者家族や職員と連携を図り、対応ができている。時には、試みた対応が間違った場合は、直ぐに修正、代替案の提案が迅速にできている。地域住民からの苦情や意見については、事例がない。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自己の仕事に対する目標、目的、その達成度について自己評価をし、その資料をもとに、上司との面談、運営層の評価・考査という流れができていない。また、どのような事業所としたいのか、その特色やビジョン、各職員の事業所実現、自己実現の夢や思いを話す環境ができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>職員の成長を見届けることや、意見を汲み上げる風土づくりを、運営層が率先して実施しなければならない。職員をストレスフリーにすることで、働きやすい環境、意見が言いやすい環境にする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	3人	1人	0人	5人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・社内での新任研修、現任研修のほか、社外での地域介護事業者向け教育プログラムに参加している。テーマ、内容に合わせた人選をし、ほとんどの職員が研修を受けられるようにしている。・福祉分野もサービス業であるため、職員が接遇研修を通じ、言葉遣いや、誰もが心地良いと感じる接し方等を学ぶことで、良質なサービス提供ができるようにしている。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・社内での研修は、研修委員会が企画、内外講師の選定をして、全職員を対象に開催をしている。社外での研修参加者からの研修報告をしてもらうことで、広く周知もできている。・ケアの方法を変えるにあたり、部門会議のなかでのカンファレンスにて、ケアを変えることのメリットとデメリットを探り、行き当たりばったりのケアにならないようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	2	2	0	5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	2	0	5
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	0	3	5
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	4	0	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	全体会議 (研修含む)、部門会議、各種委員会と各部門を超えた職員との意見交換、学ぶ機会は豊富にある。各会議への参加は、本人の自主性に任せているところであり、参加意欲のある職員の評価を考査に反映している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	職員のなりたい自分像、目指すべき姿について把握することができていないため、スキルアップのための導きや動機づけができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	個人の目標達成の喜びが、事業所で働くことの喜びや活力に反映されることで、ここで働きたい、仲間とともに成長したいという、夢や感動のもてる職場づくりをしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 4 日 (19 : 00 ~ 20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー S、T、T、K、M

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	2人	0人	0人	5人

前回の改善計画
・身体拘束の研修参加者から、研修報告を受けて、身体拘束の定義、種類等を正確に理解し、身体拘束ゼロに向けて実践している。 ・高齢者虐待防止法等の研修参加者から、研修報告を受け、共に学ぶ機会をもち、虐待の防止、また発見した際には市町村への義務等を遵守している。
前回の改善計画に対する取組み結果
・当施設では物理的な身体拘束をすることなく、ケアで対応ができている。また、研修で学んだことを日々の業務に反映し配慮している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	0	0	0	5
②	虐待は行われていない	5	0	0	0	5
③	プライバシーが守られている	4	1	0	0	5
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	2	3	0	5
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	1	0	0	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	職員の声掛けや対応により、利用者が穏やかに過ごすことができている。そのため、利用者の身体を拘束、行動を抑制するようなこと、或いは暴力や暴言による虐待の事態は一切ない。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	身体拘束をしなければならない時は、その利用者には、何かのストレスや不安があると考えて、その人の暮らしやすい生活は、どのようなものなのかまで掘り下げて考えた対応までには達していない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	前回と同様の改善計画を継続、遵守することで、今後も身体拘束ゼロ、虐待防止に取り組んでいく。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 スクールパール羽生	代表者	専務取締役 柿本英一	法人・ 事業所 の特徴	小規模多機能型居宅介護ルミエールでは、利用者やその家族の要望を、計画段階から細かく聴き取り、プラン及びサービス提供を誠実に対応している。 サービス利用中に、現場スタッフの気付きや、利用者やその家族から、プラン等の要望があった場合は、その変更に対応するため、職員間の連携を柔軟かつ綿密に実施している。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 ルミエール	管理者	高澤義之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	0人	0人	1人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の思いを聴き取るように努めており、安心して穏やかに生活を送ることができるケアプランの策定がなされている。家族の要望にも配慮し、柔軟なサービス構築に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人評価及び事業所評価の内容が広範囲にわたり、分からない部分もあった。 自分の仕事に対しての振り返りができるため、個人レベルでは有益である。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の評価をすることに慣れていないため難しい。 事業所自己評価で、日々の業務や事業運営を図ることは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の評価結果や意見を受けて、事業展開に取り入れてみる。 まずは、取り組んでみるのが大事となる。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 木造の建屋で温もりを感じられている。冷暖房、床暖房完備しており、住み心地の良い設計になっている。また、リビングや居室のカーテンは暖色系を基調としており、落ち着いた雰囲気が創り上げられている。 	<ul style="list-style-type: none"> 建屋は木造であるため、温かみがあり家庭的な造りになっている。 寛げるスペース（畳や小上がりなど）が無く、ちょっと休むことができない。 時間に縛られることなく利用者の動きに合わせて、ゆとりがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学を通じて実施状況をみさせてもらっているが、不快や不信感を抱くことは起こっていない。 住み心地の良い施設なのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校、学童保育室、短期大学、公民館などの社会資源が豊富にあるため、事業所から働きかけて交流を図っていきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の文化活動、地域防災避難訓練、小学校の体育祭やその他の年中行事に利用者と共に参加し、顔と顔を合わせた深い交流ができています。 福祉分野も今やサービス業であるため、職員が接遇研修を通じ、言葉遣いや、誰もが心地良いと感じる接し方を学び、良質なサービス提供ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校が隣にあり、登下校で賑やかであるが児童との交流ができていない。 より良い接遇については、永遠の課題であり、馴れ合いによる友だち言葉になってしまう等、常に気をつけなければならない。 運営層の者が手本を見せなければ、部下への浸透はできない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談をする緊急切迫した事態になっていないため、施設に相談するに至っていない。 地域交流は、少ない頻度であっても、お互いに協力はできている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流としての働きかけを事業所側から発信し、交流の機会を（納涼祭、餅つき会、認知症について地域と考える研修会など）創っていかねばならないと考える。

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の文化活動、地域防災避難訓練、小学校の体育祭やその他の年中行事に利用者と共に参加し、顔と顔を合わせた深い交流ができています。 ・季節の花々や深緑等の外出の気候に適した時季に、地域の公園等へ散歩を兼ねたドライブをしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントによる施設見学や演劇鑑賞などの社会参加を通して、地域とのつながりを大事にしていきたい。 ・施設主催の行事に、地域の皆さんを呼び込むことを始めて、行き来しやすい環境をつくりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護計画に地域のみなさんを含めた場合、どの程度の協力が可能か確認をしたところ、現段階では突発的な協力依頼に躊躇する。 ・自治会や地域防災委員及び民生委員等の役員ならば活動に結びつきやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・羽生市が「認知症カフェ」の設置に向けた勉強会の開催を始めている。 ・認知症カフェという媒体を介して、運営実施者と認知症の方及びその家族が互いに理解し、地域で支え合える仕組みづくりをしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・利用状況や事故・ヒヤリハット報告及び外部評価実施後には、評価報告をし、会議の参加者から意見及び評価を収集し、サービス向上に反映している。 ・地域の方や利用者家族等に対して、認知症対応型の施設の在り方、利用者と職員の関わり等を広く理解してもらうように努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は、運営主体の参加で、現場スタッフには会議内容や参加者のことまで分からない。不透明である。 ・運営推進会議という、堅苦しいものではなく、茶話会のような感覚で、誰もが参加できるような形式を考えたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の取組みは、運営推進会議において、事業活動や報告があるため、分かりやすい。 ・ヒヤリハットや事故報告を確認すると、いつ起こるか予測ができるものでないので、介護職員の大変さや苦勞が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行の運営推進会議は、参加者から評価を戴いているため継続していく。 ・運営推進会議の参加者の間口を広くしていく。(民生委員や地域の商店及び各種団体職員など)
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・火災や地震等を想定して、避難訓練、通報訓練、消火訓練を年2回実施している。 ・地域の防災訓練に参加し、避難誘導訓練等、地域との連携を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間(夜勤者2名対応)を想定した避難訓練を実施していない。 ・非常食の設置場所と品目や数量の把握ができていない。 ・自治会主催の防災訓練への参加をしていたことを知らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練への参加は、運営者のみになっている。利用者や入居者の参加も検討していく。 ・水害を想定した避難訓練の実施をする。 ・防災無線の警報レベルにおける行動について確認していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台風や堤防の決壊等の水害を想定して、小学校の2階への全員避難誘導訓練を実施してみる。 ・地域の自治会等にも参加協力を得ての実施を考えている。

